

# かわらばん

第47号 2022年12月15日



自衛隊はセクシュアル・ハラスメントを根絶できるか……角田由紀子

日本語よ、どこへ行く？……平野卿子

CINEMA 観るたびに違う発見がある『ある精肉店のはなし』……丹羽雅代

REPORT スウェーデンの投票率は何故高い？……三井富美代

短信：一票で変える女たちの会FBから

\*記事中の URL、一部の写真は、出典サイトとリンクされています。クリックするとリンク先が開きます。

## 自衛隊はセクシュアル・ハラスメントを根絶できるか

角田由紀子

元女性自衛隊員、五ノ井里奈さんが自身への自衛隊内での性暴力被害を実名で告発し、二〇二二年八月末には第三者委員会による徹底調査を求める一〇万筆を越える署名を防衛相に提出した。五ノ井さんは一〇月に入り、自衛官である四名の加害者から非公開の場で直接謝罪を受けて記者会見した。その席で五ノ井さんは「私の傷は一生の傷で謝罪されて癒されるものではない。しつかり、罪を償ってほしい」と述べた。防衛省は二一年六月の隊員からの性的接触、二一年八月からの複数の男性隊員からの押し倒し・性的接触の事実を認定した。防衛省が認定した事実を見てもその悪質さは際立っている。この事件で五ノ井さんは退職するしかなかったわけ

で、彼女の受けた被害は心身の傷と共にいかに深刻なものがわかった。五ノ井さんは心身を深く傷つけられ、子どもの頃からの憧れであった職を失った。

### 自衛隊は軍隊ではないのか

性暴力は、典型的な権力犯罪である。加害者は被害者よりも優位に立つ。その力関係が生み出すことがようやく知られるようになった。自衛隊という軍隊組織と性暴力とはどのような関係にあるのか。自衛隊が今ではまぎれもない軍隊であることは日本の外では常識であろう。現段階でも自衛隊の軍事費は世界第九位であり、政府が画策しているGDP二%となれば、世界第三位に到達するらしい。ところで、自衛隊は憲法九条の禁じる軍隊ではないと政府も少なからぬ国民も信じているようだ、



たさ井一  
あつ井一  
が五ツイ  
謝罪する  
から報告  
省を報告  
衛省を報  
防衛省を  
こと(9月  
から)

あるいは信じているふりをしているのかも知れない。軍隊でなければなぜ米軍と実戦を踏まえた合同演習をするのか。米軍が軍隊ではない何かと合同演習をする理由はないはずだ。

憲法九条の文言を素直に読めば政府の「解釈」はおかしいことに誰でも気が付くはずだ。九条は、明治憲法（大日本帝国憲法）をすべて否定することで成り立っている。だから、軍なるものの居場所はない。そこで、政府は「軍」ではないと言い張り、そのごまかしを一九五〇年以来続けてきた。だから「軍」という「言葉」を使わない。「軍事費」ともいわず「防衛費」というように言葉でごまかして生き延びてきた。因みに、自衛隊に要する費用を正しく「軍事費」と表現しているメディアは赤

旗だけではないだろうか。他はすべて「防衛費」と政府のインチキ呼称に依拠している。誰から、どこから何を「防衛」するというのだろうか。実態は、もはや言葉のごまかしでは隠せなくなっている。そのことは、九月から始まっている「国力としての防衛力を総合的に考える有識者会議」を見れば一目瞭然である。軍事費の途方もない増額が決定され、トマホークを五〇〇台買うことも議論された。国産を目指しているが間に合いません。そうもないのでとりあえずアメリカから買い入れるらしい。トマホークの使用目的は民生ではない。戦争での人殺しでしかない。敵基地攻撃能力（反撃能力）と言い換えたとしても）は、「敵」と名指した人を殺すことは当然の前提である。ミサイル基地を攻撃して、そこにいる敵なる人間が殺されることは言うまでもない。敵の人間、場合によっては「敵国」の民間人も巻き添えにされるかも知れないことを前提にしている。その結果、日本の国内にも報復攻撃がされるのは当然の成り行きであ

ろう。「敵」がミサイル基地等を日本に攻撃されて何もせずにことがすべて終了することはあり得ない。敵基地攻撃は、反撃と言いつても、戦争のはじまりでしかない。政府はそのことに口をつぐんでいるものだから、国民もそれが戦争のはじまりであり、国民が命や財産を失うことになるのは具体的に考えることができない。国民は政府のいつもの不正確な——あるいは間違つたという方が正確であろうか——説明を真に受けてお

### 軍隊組織と暴力

自衛隊が行う最も大事な本務は今では戦争であり、断じて災害救助ではない。戦争が人殺しであることには説明は不要だ。その悲惨さに懲りた日本人は憲法九条を選んだはずだ。しかし、東西冷戦のためにアメリカは九条を無視し、日本にアメリカのための再軍備を要求し、軍を放棄したくなかった政府はこれに渡りに船とばかりに乗って、一九五〇年に警察予備隊を発足させ、これは自衛隊に成長

した。発足当時、警察予備隊に結集した人の多くは失業した大日本帝国軍人であった。自衛隊は、どう名乗ろうとも、大日本帝国軍隊を引き継いでいる。目的も当然、明示されていないが戦争という名の人殺しである。政府は、軍隊の居場所を完全否定した九条との辻褄合わせに鋭意邁進してきているが、近年ますます軍隊であることが、近年ますます軍隊であることが隠さなくなった。旧日本軍は厳しい家父長制の階級秩序を暴力で維持してきた組織であることは、多くの人には体験に基づく自明のことであった。自衛隊は、産みの親である旧日本軍と無縁であるはずはない。効率よく戦争するには、そして戦争に勝つには、上からの指揮命令が貫かれねばならない。そういう組織の究極の姿は、構成員間に民主的な関係（下から積み上げて行く合議によって物事をきめるなど）や憲法一三条や一四条と矛盾なく両立できるのか。両立できないのは、軍隊であることの宿命であろう。

## 軍隊と人権保障

自衛隊の根本的性質を頭に置く  
と、殺人は許されるがハラスメン  
トは許されないとどう論証できる  
のだろうか。

聞くとところによると、ドイツ軍  
では兵士である前に人間であれど  
軍隊での人権保障が求められてい  
るという。内部での人権保障をし  
ながら敵を殺すというのはいかに  
うことだろうか。「敵」は人間で  
はないということであろうか。い  
ま、私たちはそういう非情な論理  
をウクライナ戦争で見ている。

当然、自衛隊員に人権が保障さ  
れることは望ましいし、憲法の下  
にある組織だからそうすべきであ  
る。そのために、セクハラ防止規  
定などが実効性を持つことに反対  
するわけではない。自衛隊の男女  
共同参画も素晴らしいことに違  
ない。男女共同参画は個人の尊重  
の上にしか成り立たないはずだ。  
しかし、それらは、軍隊である  
自衛隊の究極の存在目的とどのよ  
うに整合できるのか。

岸田首相は、一月二五日の衆

議院予算員会で、年末までに完成  
させる安保三文書中にハラスメン  
ト対策を書き込むと表明した。「性  
暴力事案を含むハラスメントは、  
自衛隊の精強性を揺るがす決して  
許されない行為だ」と述べた。

昨今の、もうすでに戦時下であ  
るかのような前のめりの旧自衛隊  
高官たちや先述の「有識者会議」  
での身の毛もよだつ議論を聞く  
と、そのような組織での人権課題  
であるハラスメント根絶は一体ど  
ういうことになるのか。首相は、  
その文書にハラスメント防止を書  
き込むと言っているが、三文書の  
目的とどう調整できるのか。

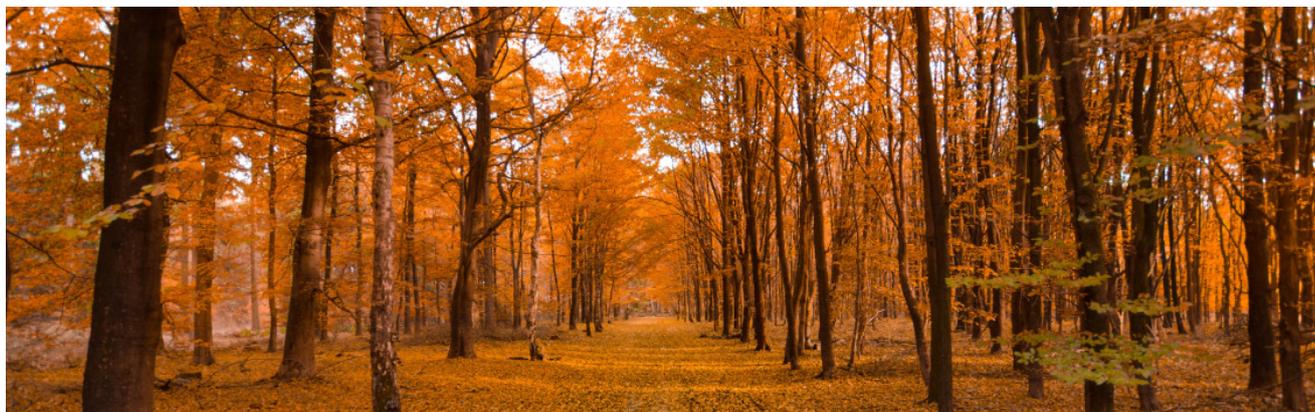
人権課題を追求するには、自  
衛隊が本来の意味で軍隊であるこ  
とをやめ、災害救助隊としての仕  
事に専念すると方向転換すること  
が必要ではないか。つまり、コス  
タリカのように軍隊を廃止するこ  
とである。因みに、ワールドカッ  
プ報道ではコスタリカには軍隊が  
ないことは注目されていない。こ  
の国についての情報でこれが一番  
日本人が知るべきものではない  
か。世界には軍隊なしで成立して

いる国があることを私たちは知る  
べきだ。日本のメディアは、「有  
識者会議」の増税を伴う膨大な軍  
事費を要求する結論を報じる紙面  
で、軍隊のない国コスタリカにつ  
いて同時に報じるべきではない  
か。

日本人は軍事費によって国民生  
活が破壊され尽くされたついでに  
この経験の思い出す必要がある。  
軍事費が高騰し、軍隊が殺人用の  
武器を買いそろえ強力なものにな  
るといって国で自衛隊員のハラスメ  
ント根絶は実現可能なだろうか。  
戦争が実際に始まるまでは自  
衛隊の中でも人権課題を追求すべ  
きだし、できるだろう。

今のところ、裁判所も自衛隊の  
ハラスメント事案で不法行為責任  
を認めている。それはそれとして  
評価されねばならない。確かにま  
だ戦争は目に見える形では始まっ  
てはいないが、政府は戦争準備に  
明け暮れていると私には見える。  
戦争はある日突然始まるものでな  
いことは歴史が教えている。

(一月三〇日)





それにしても、この間テレビのコメンテーターが、三人のスポーツ選手の名を挙げて「この三人たちを応援しています」と言ったのにはびっくり。

「たち」よ、どこまで行くのか、もはや迷走しているんじゃないのか。

だが、しかし。

今ではわたしは以前とは少し違う考えを持つようになった。つまり、いまさらどうのこうの言っても始まらないのではないか。先に挙げた「を」にしても、わたしのようになって仕方ない。人間はどんどん少なくなっていくのだろう。こう思うようになったのである。

その理由の一つは、自分もまた本来とは違う使い方をしていることを知ったからだ。例えば、「全然」は次に否定が来なければいけないと長らく思い込んでいたわたしは、若者が「全然良い」と言ったりすると顔をしかめていたのだが、ある時、昔は肯定文にも使われていたと知った。漱石「坊ちゃん」にも「生徒が全然悪いです」というくだりがある。

「とても」も、「非常に」と言うときにも使っていたが、芥川龍之介が「新しい」用法と書いているように、以前は「とてもかなわない」というように「とてもくはない」の形だけだったという。これを知ったのもそう昔のこと

はない。

ことばは変わる。

森友学園問題ですっかりおなじみになった「付度」にしても、本来は悪い意味ではなく、単に「他人の気持ちを推しはかる」ことであり、「思いやる」に近かった。

「山茶花」は「さんざか」だったのが、言い間違いが定着して「ざざんか」になったというし、「独壇場」も独壇場（どくせんじょう）だったのが、「壇」が「壇」と読み違えられたことから「独壇場」が一般化した。「雰囲気」は、若い人の間では「ふいんき」と言う人が増えており、いずれこちらが主流になるという予想もある。

先日のNHKドラマ『作りたい女と食べたい女』では、自分が注文したランチのごはんが少なめなのを見た女性が店主に、「あのごはんは「よそう」じゃないの？」と、わたしは驚いたのだけれど、一概にそうも言えないらしい。

二〇一九年の調査によると、ごはんを「よそう」は五八・八%で、「つぐ」が一六・一%だとか（そのほかは盛る、よそる、つけるなど）。全国ネットのドラマでも使われているのを見ると、横浜弁の「くじゃん」がいまでは全国区になったように、「ご飯をつぐ」も将来は一般的になるのかもしれない。

今年のサッカーW杯の本田選手の解説が人気だそうでいくつか例が載っていた。その中に「（長友） 佐都のパスが雑い」というのがあった。わたしはびっくりしたのだが、「雑い」は数年前から若者の間ではふつうに使われているという。それでもやはり、おかしいと感じるものはある。

またしてもフィギュアスケートの話題になるが、小泉孝太郎が「エキシビジョンは選手の方の皆さんのユーモアさも非常に見どころだな」と思ったんですけど」とコメントしていた。どうなんだろう、これ。

数日前の新聞には「グチをしゃべった」とあった。愚痴はこぼすものなんじゃないの？ これらはまだ「誤り」と言えるように思うのだが、いかがだろう。

でも、ことばは変わる（と、ふたたび自分に言い聞かせる……）。

テレビの司会者が、「このようないんぎのなかでは、やはり発言たちはユーモアを必要です」とか言う日がいつか来るのだろうか。



CINEMA

観るたびに違つ発見がある  
『ある精肉店のはなし』  
丹羽雅代

もう九年も前に発表された作品だが、何度見ても新しい。私は三回見た。映画製作監督は瀬瀬あやさん。来年は製作一〇周年を迎えるので、きつと私はまた見ると思う。その理由を伝えたい。

映画の舞台は大阪府貝塚市の北出精肉店。店主は江戸から続く七代目、姉・弟家族とともに一家総



出で肉屋さんを営む。

関西最大規模の屠畜市場で子牛の買い付けをし、肥育、屠畜、精肉、小売り(車での移動販売も)まで、すべての工程を大家族で行っており、瀬瀬さんはその全部をカメラで追い続ける。当然ながらついで目をそむけたくなくなるような、壮絶な場面も多いが、カメラがそれることはない。

牛小屋から公設屠畜場(この屠畜場は以前は複数の業者が使っていたそうだが、ここ何年かは北出さんたち以外にはいないから、場の管理も大切な仕事)まで歩いて数分というが、不安を察知した牛

は嫌がつて逃げようとする、文字通り命がけで、それをなだめ、落ち着かせて歩みを進めさせるのはまさに神業。できるだけ牛が苦しむことのないように、頭

にハンマーで一撃を加える。弟は牛がハンマーを見ないでいいようにと、自分の手で牛に眼隠しをする。ここまで育てた牛だからこそ、一発で決めたいとのこと、そうだよねえ。

まだ心臓がしっかりと動いているうちに頸動脈を切り、からだじゅうの血を流出させる。切り口はもたもたしているとおつという間に脂肪がふさいでしまうから、時間の余裕はまったくない。放血がしっかりとできるほど肉の品質は良くなる。

屠畜場がなかったころは、この作業は流れる川の上でなされたという。

もとは「穢多身分」といわれた部落の人々の専門仕事だったが、明治時代になって、それまで動物の持ち主にまかされていたことが、屠殺規則が定められ、公的管理の屠場が作られていくことにより、部落の人々の主たる経済的基盤は奪われていき、貧困と差別がどんどん強化されていった。差別は天皇制と共に常に社会化されて

きたことは、大変重要なことで忘れてはならない。

牛の話に戻る。次はまずは皮むき、大人が四人がかりで取り掛かる。足を一本ずつしっかりと引つ張るのは女性たち。大変な力仕事だけれど、これがいい加減では皮がするするとむけない。手にタオルを巻いて呼吸も合わせて、作業に集中する。

内臓を傷つけないように腹を開く。ナイフはすぐに脂で切れなくなるから熱湯消毒ややすり研ぎも何度も何度も必要。内臓だけで一五〇キログラムはあるそう。

一番高価なレバーをはじめ、ミノだのハツだのセンマイだの、それぞれをきれいに水洗いして処理をする。小腸は二〇〜三〇メートル。これをきれいに洗うのも途方もない仕事。余分な脂も取り除く。頭から大きな大きなタンを取り出す。

一方の本体は、眉間からワイヤーを脊髄に通し、天井から吊るす。ゆうに大人の背丈の二倍くらいはある。こちらでも淡々と迅速に

解体作業が続く。

肉を傷つけないように、チェーンソーで背骨の真中を切り開く。天井から冷水シャワーが降り注ぐ。牛の体温は三八度くらいで、それが死ぬと四二度くらいまで上がる。これを〇度までしつかり冷やさなくてはならない。

冷蔵庫で一週間寝かせると、しまった枝肉が熟成し、骨取りができるようになるとのこと。

かわるすべての人の全身が静かな集中力に満ちている。言葉は不要。

とても長い時間に思えるが、ほぼ一時間余りで全部終了するといふ。

見事なまでの呼吸の合わせ方は、そうかこういうのを職人仕事というのだなあと改めて思った。牛は鳴き声以外は捨てるということがないといわれているというのも納得。受け継がれてきていた技術はとても高度なものだ。今は屠場も非常に少なくなり、枝肉状態での輸入量も多いらしい。実際の作業の舞台である貝塚市の、日

本で一番小さかった公設屠畜場も二〇一二年に閉鎖されている。この映画で知ることができた職人技も、今は多くは機械化されているのだろう。私たちはいつでもお肉を食べられるし、焼肉屋さんも多い……でも、それでいいのかな。

二点目の大事なことは被差別部落問題。私が大阪にいたのはもう四〇年以上も前のこと。その頃は部落問題・解放教育抜きには教員生活はありえなかった。副読本も一所懸命作ったし、学習会も新鮮だった。でも東京に来てからは、そんな熱意とはかなり縁遠くなった。北出さんが高校生のころに狭山闘争でよく東京にバスで行った、部落の意味も、西光万吉の言葉も、社会の問題は、「まずは自分が変わらなくてはならない」というのも、私の中に徐々に響いてきた言葉だった。

静かな盆踊りとエネルギーシユなどんじりとの対比も、色々な事物を思い起こさせる。四度目の映画はきつと、また違った発見に遭

わせてくれるだろう。

(二月二〇日)

映画「ある精肉店のはなし」

監督 瀧瀬あや (『祝の島』)

製作 やしほ映画社、ポレポレタ

イムス社

二〇一三年、一〇八分

公式ホームページ

<http://yashhofilms.com/>



## REPORT

スウェーデンの投票率は  
何故高い？

三井富美代

この秋、四年に一度と固定されている総選挙のさなかのスウェーデンに滞在した。国、県、市町村の議会選挙が九月第二日曜にいつせに行われたのだ。

びっくりしたのは、在宅で期日前投票ができること。スウェーデンの南、スコネ地方の田園地域に住む、ある高齢女性を訪ねたときのことだ。急な病気で外出ができなくなった彼女のために、大きな箱を二つ抱えて男女二人の行政職員がやって来た。一つは投票用紙の入った箱で、国・県・コミューン(市町村)それぞれの用紙が青・黄色・白と色別に並べてある。自筆記入式ではなく、選挙人は支持政党が印刷された紙を選ぶか、候補者リストの印刷された用紙を取って支持する人の名前に×をつけるかのどちらかを選べる。それぞれ色別の封筒に入れ、部屋の



外で待つていた職員に声をかけて渡す。職員はそれらを一回り大きい封筒

にまとめて入れ、もう一つの投票箱に投入。中年二人組の職員は、「このあとは高齢の修道女さんたちのいる修道院に行くんです」と和やかにおしゃべりしつつ、大きな箱を抱えて去って行った。

日本にも、海外にいたり、心身の不具合で外出や記載が困難などの状況にあつたりする人のために郵便投票や代理投票、代理記載などの制度があり、点字投票も可能になった。とはいえ公職選挙法に書かれた細かい規定が周知されているとは思にくい。在宅投票の制度もない。

スウェーデンの投票率はとても高い。今年は八四・二％で、これでも以前より低いと聞いた（日本の七月の参院選は五二・一六％）。「変えよう！選挙制度の会」の田

中久雄さんは、選挙が四年に一度と投票の機会が少ないので投票率が高くなるのだろうという。国会の解散はあるけれども、当選しても議員でいられるのは四年間の残りまで。その短さゆえにむやみに解散しないのだろうかということだ。投票機会の幅が広いことも高投票率に働いているとのこと。たとえば投票日の二週間前から郵便

投票ができるし、期日前投票所は街のあちこちにあり、病院・老人ホーム・刑務所などには特設投票所が設けられる。比例代表制だけなので政党が増える傾向があり、その数の多さも選択の幅を拡げる

ので棄権者を減らすよ

うだ。さらに教育。学校では民主主義教育の一環として中小

高校で模擬選挙や各政党の候補者やスタッフ



を招いて話を聴くなど実践的な教育が行われる。実際、一三歳になる知人の子どもも「僕の考

えと近いから」と言っていた。

選挙シーズンは街がお祭りムードになる。街の広場や人通りの多い駅前などに、テントやコンテナで各政党のブースが設けられ、スタッフや支援者がコーヒーやクッキーなどを提供したり、子供用に風船を配ったりしながら街ゆく人と会話を交わっていた。日本のような公職選挙法はなく、ポスターは電柱や壁などに自由に貼ったりぶらさげたりしてあつた。女性候補者のポスターが多いように感じたが、各党とも自主的に比例代表の候補者リストを男女交互に並べているとのこと、いまや議員の半数近くが女性である。

さて、すでに伝えられているように、選挙結果は極右のスウェー

デン民主党が躍進、穏健党、キリスト教民主党、自由党の右派ブロックが社会民主労働党、左翼党、緑の党の左派ブロックを破った。結果、スウェーデン民主党は新政权には入らず閣外協力という形になったがその影響力は大きいように、右派ブロック新政权は環境省を廃止し、二〇四〇年までに電源を再エネ一〇〇％にという目標を炭素排出ゼロ一〇〇％へと転換、原発の開発・拡大推進、新設をめざす法改正を行うとしている。

スウェーデン民主党の躍進と社会民主党の敗退は、予想されていたものの、恐れていた事態が現実になったことに左派支持者たちは衝撃をうけ、知人達も「これからスウェーデンはどうなってしまうのか」と嘆いていた。

スウェーデンの選挙制度については左記の田中久雄さんの論考をぜひ参照していただきたい。

「スウェーデンの選挙制度について」法政論叢56巻(2020)1号

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jalps/56/1/56\\_157/pdf/char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jalps/56/1/56_157/pdf/char/ja)



## 短信

### 一票で変える女たちの会 フェイスブックから

会のFBから抜粋して情報を掲載します。詳しい内容はそれぞれのサイトをご覧ください。太字の見出しまたは写真をクリックするとリンク先に移動します。移動しないとき、印刷版の場合は、見出しで検索してください。日付はFB投稿日。

12月4日

### 主張するネコたちのこと



12月1日

### 自衛隊の性暴力はなぜ繰り返される？ 背景に組織独自の解釈

日新聞

訓練中などの性被害を訴えた元陸上自衛官の五ノ井里奈さん(23)に、

防衛省幹部や加害男性が謝罪した。告発により明るみに出た性暴力だが、自衛隊内のハラスメントは長年、繰り返されてきた。組織構造の問題が指摘される中、なぜ改善されないのか……

11月29日

北原みのりさんのFBから

本日、性搾取に巻き込まれた当事者として、困難を抱える若年女性の当事者として活動してきた Colabo と 仁藤夢乃さんに対する攻撃に対する訴訟記者会見が行われました。

誹謗中傷やデマ、オンラインのつきまといに対して「いいね」をした人への訴訟、また刑事告訴も今後考えていくとのことでした……

11月25日



足集会アーカイブ動画

台湾を戦場にしてはならない  
沖縄を戦場にしてはならない  
沖縄台湾プロジェクト発足集会動画  
youtube.com  
221015 沖縄対話プロジェクト発

11月25日

Noriko Oyama ▼ Okinawa Peace Appeal

有毒成分を含む泡消火剤を「数十年使った」と米軍。普天間飛行場で内部メール、日本側からの質問嫌がる一沖縄タイムスプラス ニュース (11月7日)

【ジョン・ミツチエル特約通信員】米軍普天間飛行場内の訓練で、有毒な有機フッ素化合物PFOS(ピーホス)を含む泡消火剤が「数十年の間」使用されていたことが米海兵隊内部のメールによって明らかになった……

11月19日

### 原発建設を止めた日本の市民運動



一国際環境NGOグリーンピース  
原爆による被ばくを経験している地震の多い国。そんな日本が多数の原発を建設し、稼働させてしまっ

ることは辛く、苦しい現実です……しかし、実は日本には今ある原発の数よりも多い、原発を立てさせなかった計画地があるのです。今一度、原発の建設を止めた市民運動に目を向け、全国各地の反対運動の一部を紹介します……

11月13日

70年代末結成された女性5人によるロックバンド、水玉消防団。昭和のB面女性史がここに

### 水玉消防団ヒストリー 第1回

1976年 新宿「ホーキ星」一スズパブリッシャーズnote

取材・文◎吉岡洋美 協力◎松本路子写真事務所 一九七八年末、五人の女性によって結成された日本のオリジナル女性パンクバンド、水玉消防団。一九五三年生まれの天鼓、



一九五五年生まれのカムラ、一九四九年生まれの可夜、まなこ、みやもと……

11月11日

北原みのりさんのFBから

今日はフラワーデモの日。私は広島  
のフラワーデモに参加します。

保育園児の頃から父親の膝の上でA  
Vを見せられ、その後、中学生にな  
るまで性虐待を受けてきた女性。長  
いPTSDに苦しんだ慰謝料を求め  
る裁判で、裁判所は女性の訴えを退  
けました。

女性は中学まで被害があったと訴え  
てましたが、父親は小四で終えたと  
し、「行為から二〇〇三〇年を経過  
して心的外傷後ストレス障害（PT  
SD）などの後遺症が発現すること  
は医学的にあり得ない」と主張……  
声をあげるまでにかかった時間、性  
虐待のその後の人生の長さを理解し  
ない広島地裁の判決に強く抗議しま  
す……

10月30日

韓国、フランス、ドイツ、スウェーデ  
ンなどにある、障害ある人への性暴力  
の規定が日本にはない。

(フォーラム) **子どもへの性暴力**

反響編…朝日新聞デジタル  
障害のある子どもを性暴力から守る  
ためには——。「子どもへの性暴力」  
……障害のある子どもの被害につい



て取り上げ、ご  
意見・感想を募つ  
たところ、被害  
者家族の方たち  
から体験が寄せ  
られました。何  
ができるのかを  
みなさんと……  
(無料記事)

10月28日

Sophia University Institute of  
Global Concern

トクセッション  
「**憲法と戦争を考える**」  
10月28日(金) 19時30分~21時30分  
会場 上智大学中央図書館9階9-2会議室(※参加費無料)  
ロシアのウクライナ侵襲による戦争の激化、勇ましいウクライナ  
ロシヤが押し寄せている。今こそ、憲法と戦争を考えよう。

司会 中野晃一 (司法会) 三浦まり  
後日 Youtube にて公開予定

Sophia Open Research  
Weeks 2022 7th NOV. → 23rd NOV.

トークセッション「**憲法と戦争を考  
える**」

ロシアのウクライナ侵襲、米中対立  
の激化。勇ましい煽り文句に知性が  
押しつぶされないう、今こそソリア  
ルに、憲法と戦争を考えます。

【パネリスト】石川健治、猿田佐世、  
中野晃一【司会】三浦まり  
後日 Youtube にて公開予定

10月28日

大磯町議会男女同数！

報告…「だれでも自由に意見を述べ  
合える男女同数の大磯町議会」 by  
岡田ふさ子 FEM-NEWS



神奈川大磯  
町は人口約  
三万二、四〇〇  
人。東京から  
JRで一時間  
余。著名な政  
界、財界人、企  
業等の別荘地  
として人気を  
博す。その町  
の議員・渡辺順子さんは、二〇〇三  
年初当選した。そのとき大磯は日本  
初の「男女同数議会」となり、二〇  
年間一貫して「男女同数議会」だ。  
正確には女性が過半数を超えたとき  
もある……

10月27日

新宿歌舞伎町で若い女性たちの支援を  
続ける仁藤夢乃さんとCobbo。厳し  
い冬が間近だ。危険と飢えに晒される  
彼女たちのためにCobboに協力を！  
仁藤夢乃さんのFBから

【冬服・食品寄付募集】バスカフェ

で使用する冬服と食品が不足してい  
ます！一度のバスカフェでこれだけ  
の物品がなくなります。



必要としてい  
る物品を、欲  
しいものリス  
トからの購入  
で応援くださ  
い！

10月24日

羽場久美子さん講演会。Youtube配  
信あり。

講演「東アジアの平和のため、何を  
なすべきか？——中国とは戦争しな  
い——市民・自治体・沖縄を平和  
のハブに！」

10月20日

軍隊は、暴力と切っても切れない

東京新聞10月19日朝刊「こちら特報  
部」自衛隊変わらぬ体質 性暴力・  
パワハラ：延々と(木原育子記者)  
は、元自衛隊員五ノ井さんの受けた  
性暴力被害を取り上げ、自衛隊内で  
これまでの多くの被害例、相談が  
あったことについての防衛省の取り  
組みを問うた。記事中の角田由紀子  
弁護士のコメント。「軍隊は、暴力  
と切っても切れない。ロシアのウク

ライナ侵攻など世界の軍隊に共通する問題でもある。ハラスメントに止まらず、軍と性被害について本質を直視すべき時に来ている」

10月20日

反五輪の会 no Olympics 2020  
デモ告知グラフィック〈音声アリ〉



『一票で変える女たちの会』かわらばん  
★印刷版をご希望の方は左記FAX、メール、ホームページの問合せ欄からご連絡ください。

★投稿大歓迎！

「コロナ禍の中の暮らし、本や映画の紹介、地域での活動報告、選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見、なんでもお寄せください。(一本につき四〇〇字〜一六〇〇字)

宛先：1pyodekaeru@gmail.com

郵便：〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター

メールボックスNo. 45

FAX：03-5684-1412

mail: 1pyodekaeru@gmail.com

HP: <https://1pyo-de-kaeru.com>

★カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひカンパを！

郵便振替口座：

記号番号 00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会

イッピョウデカエルオンナたちノカイ

銀行等から振り込む場合：

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキョウ)

店 (019)

預金種目 当座

口座番号 0420003

